

(報告)

府立郷土資料館の在り方に関する意見聴取会議について

平成 25 年 11 月 13 日
文化財保護課

「京都府立郷土資料館の在り方に関する意見聴取会議」について、報告いたします。

記

1 意見聴取会議設置趣旨

開館以来 30～42 年が経過して、施設の老朽化などの課題を持つ丹後・山城郷土資料館には、平成 21 年度包括外部監査等から問題提起・指摘もあり、外部有識者から資料館の今後の在り方について意見を聴取するため、平成 25 年 6 月「京都府立郷土資料館の在り方に関する意見聴取会議」を設置。

2 主な意見：

- ・ 2 館体制を維持し、その存在意義を強調すること。
- ・ 資料館の役割を強調し、関連部局・各種団体等と一層連携するなど、所在市町及び周辺地域での存在感を高めること。
- ・ 資料館の認知度を高め、幅広い利用者層の拡大を図り、生涯学習施設として、子どもや年配者などの入館を目指すこと。
- ・ 学校教育・生徒の利用などについて、教職経験者、指導主事、教員籍職員等が運営等に関与することが必要。
- ・ 他府県立の資料館等に比べて体制（人員）、予算が少ないので、拡充が是非必要。
- ・ 施設・設備の更新整備が肝心。
- ・ 中途半端に応急的に行う改善はむしろ良くない。
- ・ 常設展は一新し、展示はわかりやすくすること。
- ・ 収蔵資料は整理、デジタル化し、公開すること。
- ・ 資料館に係る博物館法による「運営協議会」の設置をするべき。

3 参考：「京都府立郷土資料館条例」（昭和 57 年 3 月 29 日施行）

第 1 条 郷土についての歴史資料、考古資料、民俗資料等(以下「資料等」という。)の保存及び活用を図り、もつて府民の文化的向上に資するため、京都府立郷土資料館(以下「郷土資料館」という。)を次の表のとおり設置する。

○委員名簿

氏名	分野等	所属	備考
宇野 文男	文化人類学 博物館学	元福井大学教授	
金村 允人	学校教育 文化財・行政	元・丹後郷土資料館長 元・峰山高校校長	
座長 金田 章裕	歴史地理学	大学共同利用機関法人人間文化研究 機構・機構長、京都大学名誉教授	府文化財保護審議委員
中小路 貴司	子どもの体験 活動指導者	自営業（書店経営）	府社会教育委員
松谷 茂	博物館関係、 植物学・行政	府立大学客員教授 府立植物園名誉園長	
副座長 村山 敦	企業経営等	元・パナソニック副社長 元・関西国際空港株式会社社長 (公財) 日本工芸会近畿支部長	

○開催経過

- ・第1回：平成25年6月11日（火）、京都府公館
概要等：会議設置要綱の承認、金田座長、村山副座長を選任。両資料館の概要説明。
- ・第2回：平成25年7月26日（金）、丹後郷土資料館、智恩寺、天橋立、籠神社等
概要等：施設や敷地の現状を確認するとともに、地域オブザーバーと意見交換。
- ・第3回：平成25年8月27日（火）山城郷土資料館、史跡恭仁宮跡
概要等：施設や敷地の現状を確認するとともに、地域オブザーバーと意見交換。
- ・第4回：平成25年9月20日（金）京都府公館
概要等：意見交換。